

ON PAPER

年2回発行 三木町ふるさと会報紙

KIT*MIKI



三木町公式アカウント (Instagram)
https://www.instagram.com/kit_miki_kagawa/



香川県三木町魅力発信サイト
KIT*MIKI (WEBサイト)
<https://www.town.miki.lg.jp/kit-miki/>

むかし話が
聞こえる町

2024 Spring

三木町地域ブランド プロモーション実施中!



最新イベント
情報は、公式SNS
アカウントにて
随時発信中!

三木町の地域資源いちごを使った地域ブランドプロモーション「Very!Berry!三木町」が令和4年度からスタートしています。公式SNSを使った情報発信やPRイベント「三木町いちごの日」を実施しています。

🍓 マンガ「それが声優!」 萌咲いちごが、三木町いちご大使に就任!

声優・ナレーター・文筆業として活躍しているあさのますみ先生原作、週刊少年サンデーの人気連載「トニカクカワイイ」や「ハヤテのごとく!!」の作者・畑健二郎先生作画によるオリジナル作品「それが声優!」。その中に登場する萌咲いちごは香川県出身で、歌って踊れるアイドル声優を夢見ている新人声優。心からいちごを愛する萌咲が、三木町のいちご大使に就任しました!



原作／あさのますみ(声優、ナレーター、文筆業)
声優業は「浅野真澄」、文筆業は『あさのますみ』として活躍中。
主な出演作品:G.O/プリンセスプリキュア(キュアマーメイド)など多数
作画／畑 健二郎(漫画家)
2002年漫画家デビュー
代表作:『ハヤテのごとく!』、『それが声優!』、『トニカクカワイイ』

萌咲 いちご (もえさき いちご)
◎5月5日生 ◎身長154cm ◎血液型A型 ◎香川県出身
◎好きなもの:イチゴ ◎特技:パソコン、料理
◎所属事務所:ボイスエンタテインメント



🍓 トークイベント、出展ブースを開催

令和5年1月15日に高松市丸亀町グリーンにて、PRイベント「第1回三木町いちごの日」を開催。イベントでは三木町産いちごやいちごを用いた加工品即売会の他、アニメ「それが声優!」で萌咲いちごの声を担当した長久友紀さんのトークショーもあり、大いに盛り上がりしました。

また、令和5年10月28日に行われた「獅子たちの里 三木まんで願。」でも、長久友紀さんのトークショーや、三木ブランドゾーンでいちご暮らしの出展ブースが設営されました。

そして、令和6年2月4日にも同じく高松市丸亀町グリーンにてPRイベント「第2回三木町いちごの日」が開催。さらに東京でもホブソンズアイスクリームパーラー有明店で三木町産いちごを使ったスイーツも販売され、大好評でした。



■公式SNSアカウント

ちっちゃいけれど個性的、誰からも愛される、まるで「いちご」みたいな町、それが香川県三木町。Very!Berry!三木町公式サイトや公式SNSでは、三木町の魅力や「とってもいちごな暮らし」の情報などを発信しています。ぜひフォローの上、専用ハッシュタグ「#いちご暮らし」で投稿を!



©それが声優! (あさのますみ/畑健二郎)

🍓X(旧Twitter)
萌咲いちごお世話係
@VeryBerry!三木町(公式)



@Very_Berry_Miki

🍓Instagram
【公式】Very!Berry!三木町



@very.berry.mikicho

🍓WEBサイト



<https://www.town.miki.lg.jp/very-berry-mikicho/>

これからもっともっと三木町といちごに関する情報発信をがんばっていきます!

カフェやお買い物ができるお店、絶景スポットなども紹介しています

🍓 等身大パネル展示中

三木町役場では、三木町いちご大使「萌咲いちご」の等身大アクリルパネルを展示中。

原作者のあさのますみ先生、作画の畑健二郎先生、アニメ版声優の長久友紀さんのサイン入りです。

役場1階エントランスホール(平日8:30-17:15)にて展示されていますので、お近くにお越しの際は是非お立ち寄りください。



フотスポットになっています。



🍓 三木町の魅力を紹介!! MIKI超CARD配布予定!!

三木町のさまざまな魅力を紹介する三木町オリジナルトレーディングカード「MIKI超CARD」を製作中!! この特別なカードを通じて「三木町のチャームポイント」を深堀していくことができます。「MIKI超CARD」は、「Very! Berry! 三木町応援店」にて配布予定です。

公式SNSアカウントにて対象店舗を随時お知らせしています!

カードは全部で20種! 全部コンプリートできれば、三木町通???



↑「三木町応援店ステッカー」が目印です♡



■表面 (全種共通)

🍓 三木町で主に生産されているいちご



■女峰

甘みの中に酸味をしっかり感じられ、赤色が鮮やかで形も良い女峰。バランスの良い酸味を活かしてケーキやデザートにも利用されます。



■さめきひめ

やわらかな食感で、ひと口食べれば果汁があふれるジューシーな果肉。さめきひめはシーズンを通して安定した糖度があり、長期間美味しく味わうことができます。

香川県では、全国に先駆けて高設式養液栽培システムを広く導入しています。これにより、太陽の光が均一に当たり、品質の高いいちごの生産が可能になっています

お申し込みはこちらからシ

ふるさと納税のお申込は、三木町役場のほか、下記ポータルサイトにて受け付けております。



ふるさとチョイス



楽天ふるさと納税



さとふる

三木町のいちごは、ふるさと納税返礼品でもお取り扱いがごぞいます



むかし話



三木町にも、たくさんの民話があります。
伝説や昔話は、その地に語り継がれている口承文学です。
天狗、化狸、鬼などの妖怪のお話から、神話の世界のお話、
実際にあったお話まで、さまざまな形で、三木町の長い歴史
を背負ってきた昔の人々の心を伝えてくれます。

今回は、多くの民話を採集して再話・編集等を行った三木民話会が発行した
「三木町のむかし話 (全5巻)」より、3つの民話を紹介します。

お話となった舞台は、現在でも見ることができます。
是非、訪れた際には、それぞれの物語に思いを馳せていただき、古の香りを感じてみてください。
また、すでに訪れたことのある方も、物語を知ること、見えなかった新しい思いを感じられ
るようになるかもしれません。

※「三木町のむかし話」は三木町文化交流プラザ内メタライブラリーでも読むことができます。



Pick Up!

文化交流プラザ

三木町の中心部に位置し、異国情緒あふれる外観が目目をひく総合文化施設
です。収容数800人のメタホールでは、各種イベントなどが催され、町内外の
人で賑わいます。また館内は、イベントホール、会議室など、用途にあわせて
様々な活用できる施設です。5万9千冊の蔵書をもつメタ・ライブラリーには、
AVコーナーもあり、交流しやすくなっています。

■常光寺の豆狸 <参考文献>三木町のむかし話4(三木民話会)

常光寺(三木町氷上)は、ラッパイチョウで有名なお寺です。
ずっと昔、こんなお話がありました。
院主さん(住職)に、夜道に3回も道に迷っていた男を送ってあげた男が相談に
来ました。
「いくら夜道は物騒や言うても通りなれた道やろ。おかしいで」
「そら、狸の仕業じゃのう。この間から何べんもそんなことがあるんじゃ」
院主さんは、しばらく考えて、それは狸の仕業であると思いました。
そして、常光寺の寺の下に住みついている1匹の小狸に、今後いたずらをしない
ように叱りました。
「今回は許してやろう。しかしじゃ、今後いたずらをしようものなら、たぬき汁にして食ってしまうぞ。わかったか？」
それからいく日かたった、ある日のことです。
夕方、院主さんが用事をすませて帰ろうとしていた時のことでした。外はすっかり暗くなり、ぱらぱらと大粒の雨
が降っていました。その家で、傘を借りて帰ろうとすると、雨はあがり、空を見上げると星が輝いて見えます。院主
さんが傘を返して帰りだすと、またぱらぱらと雨が降り出しました。それから院主さんが寺へ帰るまでの間、雨が
降ったかと思えば、すぐにやむといった繰り返して、やっとのことで寺へ帰りつきました。
さっそく院主さんが小僧さんにこの話をすると、狸が仕返しをしたのではないかと言いました。
「この間悪さして院主さんに叱られたでしょう。その腹いせにしたんだと思いますよ」
「ほお〜・・・」
院主さんは小さい狸でも人間に負けなだけの知恵があると思うと、何故か憎
めない気がしました。
それから、時々院主さんはお弁当やお土産でもらった好物のおあげを小狸にわ
けてやるようになり、小狸はいたずらをしなくなりました。
それよりむしろ、この寺に来る人の道案内をしてくれるほどになり、「まめだ」の愛
称で呼ばれるようになりました。
何十年も過ぎた今でも、この辺りに住む狸のことを、やっぱり「まめだ」と呼んで
います。



MIKICHO PHOTO CONTEST2021
プリント部門石川直樹賞 冬木すみ子



【友情出演】
三木町にお住まいの狸さん
(2023年撮影)



Pick Up!

ラッパイチョウ(常光寺のイチョウ)

世界でもめずらしいラッパの形をしたイチョウです。香川県では、良
好な生活環境を保全し、郷土の景観を維持するために、一定の基
準を設けた保存木を「香川の保存木」として昭和53年より指定して
おり、常光寺のイチョウは昭和60年3月26日に指定されています。
樹高23m 胸高幹周4.13m



Pick Up!

富士越山

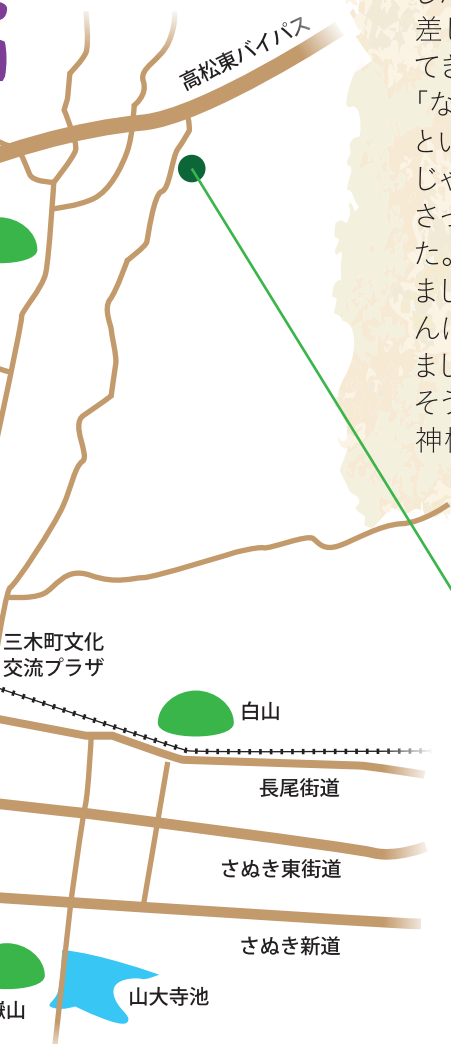
香川県三木町井上地区の砂入池(砂入池)西側の
高い山で、麓の始覚寺に
かけて、四国八十
を刻んだ石仏があり、
始覚寺の奥の院と
師堂があります。

Pick Up!

三木町井上地区のコスモス畑
香川県三木町井上の休耕地で
三木町のNPO法人が、2023年初
めて棚田の景観保全や新たな名
所づくりに向け、コスモス栽培に
取り組みました。可憐な花々が、
田園地帯を彩りました。



三木町の



八十八か所

上北部、二つ
約82mの小
寺から山頂
八か所の仏
ります。中腹に
いわれる大



■嶽山と白山の背くらべ

＜参考文献＞三木町のむかし話2(三木民話会)

「おーい、白山どん、今日は天気がええのう」
「ほーい、嶽山どんかい。あんまり気持ちがいいんで、うとうととったよ」
ここは、三木町の真ん中。
北の白山どんと南の嶽山どんが、いつものように仲良く話をしていました。
「昨日、雲太郎に白山どんと嶽山どんは、どっちが背が高いんだいと聞かれたよ」
「そりゃ、わしに決まっとる」
「いいや、おいらだよ。嶽山どんはごつごつした岩山だから、背が高そうに見えるだけさ」
ついに、二つの山は自分の方が背が高いと言って、喧嘩を始めました。そこで、背くらべをしようという話になりましたが、大きな物差しがあるわけではありません。困っていると、天から神様が下りてきました。話を聞いた神様は、両方の顔を見ながら言いました。「なーに、かんたんな事じゃないか。わたしがといをかけてやろう。といに水を落とせば高い方から低い方へ自然と水は流れていくじゃろう。水が流れてきた方が負けじゃ」
さっそく神様は、嶽山どんと白山どんの間に、長いといをかけました。そして、といの真ん中から土びんで、水をポタリポタリと落としました。水は、はじめ南の嶽山の方に流れはじめましたが、嶽山どんは負けてなるもんかと、大きく息をすって、思いつき背のびをしました。すると、今度は北の白山の方へ水が流れていきました。そうして、嶽山と白山の背くらべは、嶽山の勝ちとなりました。神様が、天地をつくったところのお話です。



▲編集担当者的山登り難易度:★★☆☆☆



嶽山(上の写真) 204m

東の天空の鳥居で有名です。岩肌が露出していて鎖場もある昔の修験道の聖地。

白山(下の写真) 203m

「東讃富士」と称される綺麗なおにぎり型の形。春には桜の名所として有名です。



▲編集担当者的山登り難易度:★☆☆☆☆

■肩切じぞう

＜参考文献＞三木町のむかし話4(三木民話会)

ある日、ひとりの侍が、よっぱらって機嫌よさそうに小谷(三木町井上)の野道を歩いていました。まっかな顔をしたその男は、道のはしに腰をおろし、誰に言うでもなくしゃべり始めました。
「昔はよかった。刀をさしていれば、村人はわしをよけて通る。おちぶれても武士は武士、みんながわしに一目おいてくれる。ところがどうだ。今じゃ、誰もわしを相手にしてくれん…つまらん世の中になったものよのお」
男は、近くのおじぞうさんを見つけると、
「のお、じぞうさんよ。世の中どうなっとるんじゃ。平和なことはええことじゃ。でもな、誰もわしを相手にしてくれんちゅうのはつまらんのう」
男はおじぞうさんを相手に、世の中の不満をならべたて、しゃべったあとは、気がすんだのかガァーガァーいびきをかいて寝てしまいました。
それからいく日かすぎました。
「ぎゃ〜っ。た、た、たすけて〜」
血相をかえた男がとびこんできました。
「出たんじゃ、化け物が。小谷のじぞう通りにさしかかった時に。おら、こしがぬけるかと思うたけど、死にものぐるいで何とか走ってきたのよ」
この話はあっという間に村に広まり、一人で夜、出歩くと、化け物に会うと言われ、ついに、夜、出歩く人はいなくなりました。
その話をきいた侍は、今こそチャンス、自分の力を見せるときだと意気込んで言いました。
「よし、わしが退治してやろう」
村の人は、かつて剣の達人と言われたこの男に妖怪退治を頼むことにしました。
その日は、あいにくの雨で、あたりはまっ暗でした。すると、向こうから傘もささずに綺麗な娘が歩いてきました。どうも様子がおかしい。娘のあたりだけは、ほんのりと明るくなっています。
「これこれ、娘さん。なぜこんな夜中にひとりでいるのじゃ」
男が声をかけると、急に娘は妖怪にかわり、男に襲いかかってきました。
「おのれ、化け物め！」
男は、ぐっと体に力を入れ、刀を抜き化け物めがけて、上から切りつけました。男は、そのまま村に帰り、化け物を退治したことをみんなに知らせました。村のひとは、みんな大喜びで、男にお礼を言いました。
翌日、侍は、正体を確かめようと昨日の場所へ行きました。すると、そこにはただ無残にも肩から脇にかけてななめに切られたおじぞうさんが、転がっているだけでした。
男はすべてを悟り、おじぞうさんを大事にかかえて、元の場所へもどしました。そして、その場所から離れることができずにいつまでもいつまでも、手を合わせて祈りつづけました。
今、小谷のおじぞうさんは、お堂の中に二つならんでおられます。向かって左側が、肩切じぞうで、室町時代(今から約500年前)のものであると言われています。お堂の横には、こんな看板が立てられています。
《おじぞうさん、昼夜を問わず見てござる》





よっしーの地域おこし活動をご紹介します！

地域おこし協力隊の芳田裕美さん(愛称:よっしー)が三木町に着任して約3年。地域おこし協力隊としては3年任期のため、活動も一区切りを迎えつつあります。これまでのよっしーの活動をご紹介します。

三木町地域おこし協力隊公式

Instagram@miki_Kagawa_chiikiokoshi➡

https://www.instagram.com/miki_kagawa_chiikiokoshi/



地域
おこし
協力隊



■三木町暮らし体験施設「TSUMIKI HOUSE」オープンにむけて

空き家を活用した移住体験施設の改修に取り組んでいます。

古い民家にはいろんな問題があることがわかり、一つ一つクリアしていくために周りの方のお力を借りながら、日々学び、とても良い経験になっています。傷んでいた床は、地域の大家さんに協力してもらって、張り替えをしました。プロの技術を見ると、素人がいきなりDIYでやるのは無謀だなと思いました。しかし、まずは網戸の張り替えなど、できるところからやってみよう!と、挑戦しています。いろんな方が気にかけてくれているので、素敵な施設になるように、作る過程も大切にしたいです。

TSUMIKI HOUSEのInstagramも開設していますのでぜひ楽しみにチェックしてみてください。



TSUMIKI HOUSEの
Instagram



■こみの古代米プロジェクト

10月に古代米を無事に収穫できました。稲刈り体験イベントは、田植えに参加してくださった方がとても楽しみにしてくれていて嬉しかったです。稲刈り前には地元の農家さんがクイズを交えながらお米のことを楽しく説明してくれて、子どもたちにも喜んでもらえました。まずは鎌を使って手刈りし、束ねて稲架掛けにしました。

その後、薪割り体験、かまど炊飯体験、昼食には炊き上がったご飯と、地域の方が作ってくれたカレーを食べました。イベント企画では、小菰ならではの体験を楽しんでもらうこと、そして大人も子どももみんなの記憶に残るものにしたいと考えています。参加者の皆さまが、イベントを通して地域とつながり、地域の人や参加者同士、年齢を問わず交流できる場を、今後も作っていきたいです。

収穫した古代米は、「こみのロマン」として、カフェサングリエやイベントで販売しています。お餅やおはぎも好評です。一度味わってみただけだと嬉しいです。



カフェサングリエの
Instagram



心を開き始めたラント

■ヤギの暮らし

昨年3月に生まれたヤギの赤ちゃんたちは、冬になって親離れをし、子ヤギ同士で暮らし始めました。黄色い首輪が「はじめちゃん」、ピンクの首輪が「くるみちゃん」です。赤ちゃんの時に付けていた首輪はいつの間にか窮屈になっていたのを、9月に交換してあげました。ヤギは、生後半年ぐらいで大人になるそうで、2歳ぐらいで成長が止まるそうです。ヤギは上下関係をしっかり示す動物ですが、2人はとっても仲良し。5日早く生まれたはじめちゃんが「私が上よ!」と頭突きをして力を見せようとするんですが、くるみちゃんの方が賢くて負けません(笑)まるで姉妹のように見えて、ほのぼのします。

「ラント」は、元々警戒心が強くてクールな感じでしたが、やっと少し心を開いてくれた気がします。しかし、柵の隙間に首を突っ込んで抜けなくなって助けを求めるというのを何回も繰り返すので、困りました。

逆に「みるくちゃん」は、人懐っこくて、好奇心旺盛なので、そばにいと仕事が捗りません。収穫のためにカゴを置いていたら、こんなこと(右写真)になりました。かわいいです。

「おこめくん」は、脱走したり、柵を破壊したりして、問題児ですが、餌があるとかわいい顔をして近づいてくるので憎めません(笑)一緒に暮らしている「ごえもん」は、ツンデレなので損しています。餌を持っていると、じーっと見ていて欲しそうにしているんですが、近づくと逃げていきます。警戒心が強いんだと思いますが、そろそろ慣れてくれたらいいなあと思います。というわけで、個性豊かなヤギファミリーにぜひ会いに来てください。



左: はじめちゃん
右: くるみちゃん



好奇心旺盛なみるくちゃん



脱走して顔が鉄柵の錆だらけのおこめくん



ツンデレのごえもん

2024
1/20
sat

イベント レポート

香川県三木町の魅力にせまるオンラインツアー いちご、うどん、お雑煮、古代米！そして、素敵な人々！を実施しました！！

三木町のいちごや文化、そしてそこで暮らす元気な地元を愛する素敵な人々。そんな三木町の魅力をもっともっと知って欲しい。そんな思いで、今年もオンラインツアーを開催しました。

今回のツアーでは、県内トップクラスの生産量を誇るいちごや、讃岐うどん、白みそ仕立ての珍しいお雑煮など食の魅力も盛りだくさん。地域の人たちと交流しながら、各スポット生中継でお届けしました。

●井戸モール、多田製麺所、カフェサングリエをオンラインでご案内
●参加者15人 ●受託者：あうたび合同会社

司会進行：あうたび合同会社

3回目となる今回は、「発見・学び」をテーマに、現地の
人々と生中継でオンラインツアーを開催しました。
あいにくの曇り空と雨が降る天気でしたが、天候に影
響されずに楽しめるのがオンラインツアーのいいところ
です。リアルタイムの空気感を楽しみながら、三木町
の魅力をご紹介します！



Live: 井戸モール/ 苺ファーム森本(苺ハウス)

最初に訪れたのは、井戸エリアにある井
戸モール。館長の櫻井さんに施設の紹
介をしてもらいました。
その後、女峰を栽培している苺ハウスへ
移動し、いちごの栽培方法や美味しい苺
の見分け方について教えてもらいました。
生産量が少なく希少な女峰が食べられる
場所や、天気や気温などの影響など、様々
なお話が飛び交いました。

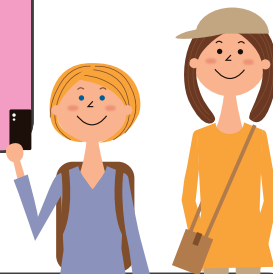
Live: 多田製麺所

次に訪れたのは、池戸エリアにある多田製麺所。一
般社団法人三木町観光協会会長の串田さんと一緒
に、中へ向かいます。
そして多田製麺所の多田さんに中を案内してもらい、
うどん作りの実演や店内の紹介をしていただきました。
実際に打ち立てのうどんを実食レポートしました。



Live: カフェサングリエ

最後に訪れたのは、小蓑エリアにあるカフェサングリ
エ。地域おこし協力隊の芳田さんと一緒に、香川県の
郷土料理である珍しいお雑煮を作りました。
香川県の一部地域では、全国的にも珍しいあん餅の
入った白みそベースのお雑煮が食べられています。今
回のツアーでは、あん餅の他に、小蓑地域で生産さ
れた古代米を使った珍しいお餅で作っています。



今回お届けした特産品

- 苺ファーム森本の「女峰イチゴジャム」
- 苺ファーム森本の「女峰いちごを贅沢に使ったグラノーラ」
- 多田製麺所の「おうちでUDONセット」
- 【お雑煮セット】
 - ・カフェサングリエのお雑煮用「あん餅」と「古代米玄米餅」
 - ・IDOMALLのお雑煮用「金時にんじん」と「里芋」
 - ・白みそ

次回、リアルイ
ベント開催に
向けて企画進
行中です！

Live: オンライン懇談会

最後は画面越しの皆さんとオンラインで懇親会を行いました。お話
の中で、白みそを使った香川の郷土料理である「おでんの辛子味噌」
や「わけぎあえ」の話題があがりました。地元の色んな食べ方につい
ても交流ができました。
ご参加いただいた皆様からは、「気さくな皆さんのお話が、とても楽し
かったです。遠い三木町を身近に感じました」「皆さんの情熱が伝わ
る楽しいツアーでした」「今までにない品なので面白い。食べるのが楽し
みです」といったお声もいただくなど、三木町の魅力を満喫していた
だけでした。

皆様のご参加、ありがとうございました！！



獅子たちの里 三木まんて願。開催御礼!!

10月28日(土)、完全復活した「獅子たちの里 三木まんて願。」が開催されました。この日のために実行委員会や専門部会の皆さん、出演者・出展者、ボランティアなど多くの町民の皆さんの協力で創り上げた三木町全力のお祭りです。大勢の人にご来場いただき、無事に終わることができました。誠にありがとうございました。令和6年度も開催予定ですので、是非ご参加ください。



三木町では、次代を担う若者が異なる文化、習慣、地域性等を学び、お互いが理解する交流の場を設けることにより、国内外で活動できる人材を養成し、地域間相互理解の増進と友好関係の促進を図ることを目的に、平成11年10月11日に北海道七飯町と姉妹都市提携調印式を行い、交流を深めています。これまでに双方の町民団体や農業団体、商工会など様々な分野で交流が行われ、年を追うごとに友好の輪は大きく広がり、両町の絆は深まっています。

北海道七飯町から
ようこそ!
(姉妹都市交流)

中でも、平成10年から始まった小学生の相互訪問では、ホームステイや課外活動を通じて、多くの友と出会い、感動の体験を共有し、友情を深めあっています。

2023年には、初めて「獅子たちの里 三木まんて願。」に子どもたちが参加し、祭りを一緒に盛り上げてくれました。

七飯町:北海道渡島半島の南部に位置し、北海道の表玄関函館市に隣接し、216.75平方キロメートルの面積を有する町です。温暖な気候と肥沃な土壌に恵まれ、北海道開拓の基礎となる西洋農業発祥の地であるとともに、秀峰駒ヶ岳、大沼公園や歴史街道「赤松街道」など歴史的にも貴重な自然景観を有する町です。



4月1日(月)からKIT*MIKI ホームページにて応募開始

(応募期間:2024年4月1日(月)9時~2024年6月7日(金)17時)

第15弾 三木の
「ええもん」もらえるキャンペーン 年2回
「株式会社藤井製麺」の 抽選10組
さめきの麺詰め合わせ



第15弾(2024年3月分)は、三木町の株式会社藤井製麺のさめきの麺詰め合わせをプレゼント。株式会社藤井製麺は、創業明治三十年という伝統に支えられて、独特の製法を守ったさめきうどん本来のうまさを継承しています。さめきうどんの美味しさの秘訣は、塩加減、水加減、練り加減という三大要素。昔ながらの製法を守り続けている本場のさめきうどんをはじめ、さめきの郷土料理のしょうゆ豆、さめきそうめんをセットでお届けします。ふるさとの味を、是非ご賞味ください。

株式会社藤井製麺について詳しくはこちら➡
<https://www.fujimen.net>



KIT*MIKIサイト内のエントリーフォームにパズルの答えをご入力・ご応募ください。

①		③			⑥
				⑦	
⑧					
				⑤	
	②		④		
⑨					

☐ を並び替えてできる言葉
はなんでしょう?

ヒント↓
茹でたうどんを、水でしめずに釜から直接器に入れて
そのまま食べるうどんです。

----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------

エントリーフォームはこちら



こちらのQRコードから
ご覧いただけます。
<https://www.town.miki.lg.jp/kit-miki/form2/>

(はがきでの応募)下記住所宛に、お名前・ご住所・電話番号・
パズルの答えを明記の上ご応募ください。

【タテのカギ】

- ①物と物との間の距離。〇〇をあけて並ぶ
- ②一、十、百、千、〇
- ③餡子が包まれたパン
- ④君主の称号。キング
- ⑤ダーウィンの〇〇論
- ⑥アメリカ合衆国最北端の州

【ヨコのカギ】

- ①北海道ではザンギと呼ばれる食べ物に似ている揚げ物
- ④OFFの反対。スイッチ〇〇
- ⑤奈良県では神の使いとして大切にされている動物
- ⑦表の反対語
- ⑧小麦粉を発酵させ、保存・携帯のために固く焼き固めたビスケットの一種
- ⑨学校や職場など大勢で集まり、競走や遊戯をする催しのこと